

様式(細則 5-2)

平成 27 年 8 月 5 日

浜田市議会議長
原田 義則 様

議員名 笹田 卓



調査研究活動報告書

下記のとおり調査研究のため研修等を行ったので、その結果を報告します。

記

1. 期 間 平成 27 年 7 月 30 日 (木) ~ 31 日

2. 研修内容

第一回地方議会研究フォーラム in 尾道

3. 研修先

尾道市 しまなみ交流館テアトロシェルネ

4. 調査経費 40618 円

(経費内訳 受講料 30000 円 宿泊費 8640 円 交通費 1978 円)

5. 調査研究活動の概要

基調講演「議会改革への挑戦～実績と課題」 講師 中邨 章 氏

パネルディスカッション「どうする地方議会の定数、報酬、年金—ホンキで討論」

コーディネーター 佐々木 信夫 氏

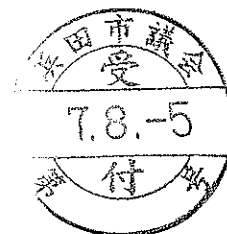
パネリスト 金井 利之 氏 野村 稔 氏 谷 隆徳 氏

講演「地方創生と地方議会」 金井 利之 氏

講演「真の二元代表制実現の方途」 幸田 雅春 氏

講演「議会改革における課題と対応」 廣瀬 和彦 氏

講演「人口減少社会における議会の役割と課題」 牛山 久仁彦 氏



「議会改革への挑戦～実績と課題」については、「住民の議会関心が薄い3つ(二元制、代議制、定数と報酬)の理由」「関心と呼ぶ議会への道」について話を伺った。

「住民の議会関心が薄い3つ(二元制、代議制、定数と報酬)の理由」の中で議員報酬と人材確保の苦悩、是正が必要な低い報酬、議会人になる壁は当市でもあてはまり、今後の対策が必要だと感じた。

「関心と呼ぶ議会への道」では、関心の高い施策の検討が必要であり、①安全安心のまちづくり、②高齢化社会への対応、③地方創生の具体化を重要施策として取り組む必要がある。

これからの議員像として言われた、首長に立ち向かう議員、外部志向の強い議員、ICTを駆使できる議員、勉強する議員、族を指す議員、昔を振り返らない議員として、今後も活動していきたい。

「どうする地方議会の定数、報酬、年金—ホンキで討論」については3人の先生方が様々な意見を出され、熱く討論されていた。3人の先生方の共通意見として、地方議員の報酬が少ないとのことだった。当市では報酬審議会があり、そこで報酬については諮問がある。財政見通しが厳しい地方議会では議員報酬を上げることは、かなり難しいと考える。

「地方創生と地方議会」については、地方創生を急いでやるべきではないと強く言っておられた。各自治体へ短期的に交付金申請、計画策定などが集権的に求められ現場は翻弄されている。1000億円の取り合いを地方にさせているだけで肝心の少子化対策が地方創生プログラムにほとんど盛り込まれていない。何もしないと国からのお叱りがあるので適当に付き合う方が良くとまで言っておられた。当市は、地方創生にかなり期待していた。その中でこの話は残念でならなかった。この勉強を活かし、当市の地方創生について助言、監視をしていく。

「真の二元代表制実現の方途」については、実現に必要な取組として、審議機能及び監視機能の実質化～対等性～、住民ニーズの公共化～住民を見方につける～、議会サポート機関の充実強化～専門性～3つを言われていた。

審議機能及び監視機能の実質化については、早期の検討開始、十分な審議ができるようにする必要がある。

住民ニーズの公共化については、住民との双方向性の確保、住民との協働作業による政策立案を目指す必要がある。

議会サポート機関の充実強化については、議会事務局の強化、専門的知見の活用(公聴会、参考人招致、付属機関等)をする必要がある。議会も執行部と切磋琢磨し、住民のために活動しなくてはならないと強く感じた。

「議会改革における課題と対応」については、議長立候補制・所信表明制導入、専門的知見の活用、通年会期制の導入の話をお伺いした。

議長立候補制・所信表明制は、当市ではすでに導入している。

専門的知見の活用については、住民のための調査などに必要なら、無償・有償も含め、活用する必要がある。有償なら予算が必要になってくるので、議会として予算を認めてくれるかが鍵となる。

通年会期制の導入については、当市の議会改革特別委員会で導入に向けて、活発な議論が行われている最中である。

「人口減少社会における議会の役割と課題」については、自治体政治のとりまく環境、地方分権で拡大する自治体議員の責任、注目される議員のあり方、人口減少社会と地方創生、地方創生で問われる自治体議会の役割と課題の話を行った。その中で人口減少社会と地方創生では、3つの基本的視点として①「東京一極集中」の是正、②若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現、③地域の特性に即した地域課題の解決を挙げられていた。当市ではすでに高齢化が進み、これらを解決するために様々な施策を打っているが限界がある。国がもっと真剣に取り組んでほしいと願う。

地方創生で問われる自治体議会の役割と課題では、自治体議会の役割を縮小する議論ばかりでよいのか？住民代表たる議会の地位の確立が必要ではないか？首長の付属機関が議会のあり方を決めてよいのか？との意見を言われていた。これらの疑問を解決するためには、自治体議会が議会として機能することができる体制づくりが求められ、地域に即した自治体議会の役割が重要だと認識している。

終わりに

2日間のフォーラムであったが、有意義な時間となった。地方創生については、想像以上に地方にとって厳しいと感じた。今回で伺った話を今後の議会活動に活かしていきたい。